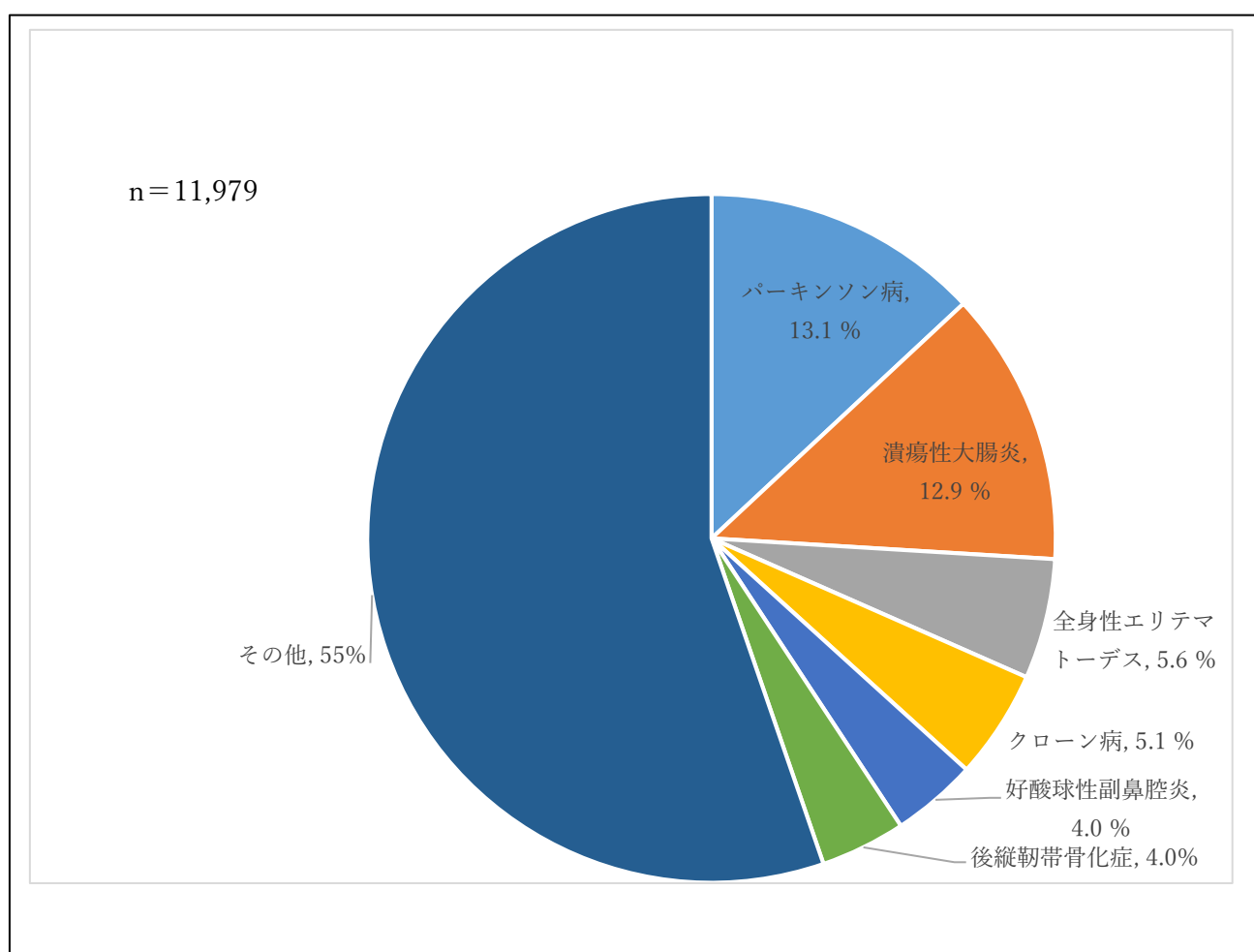


## 愛媛県の難病患者の実態と難病対策

### 1 愛媛県の特定医療費（指定難病）受給者数

- ・令和5年10月1日現在の特定医療費（指定難病）助成支給認定実件数は、11,979名である。
- ・指定難病338疾患のうち、約半数の169疾患については、本県の認定患者数は0である。
- ・パーキンソン病、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデスが上位3疾患で、全認定者の3割以上、これに、クローン病、好酸球性副鼻腔炎、後縦靭帯骨化症を加えた上位6疾患で4割以上を占めている。各二次医療圏域でも上位疾患の占める割合はほぼ同じである。（図1）
- ・新規申請者は150件/月程度で推移している。

（図1）特定医療費（指定難病）助成支給認定実件数（R5.10.1）



#### 【参考】保健所別管内受給者数（令和5年10月1日現在）

圏域名	宇摩圏域	新居浜・西条圏域	今治圏域	松山圏域		八幡浜・大洲圏域	宇和島圏域
保健所名	四国中央保健所	西条保健所	今治保健所	中予保健所	松山市保健所	八幡浜保健所	宇和島保健所
人数	776	1,860	1,430	1,182	4,581	1,183	967

## 2 難病患者地域ケア支援事業実施状況

- 保健所が主となって療養体制整備に取り組んでいる。実績は表1のとおりである。訪問件数は減少傾向にあったが、令和4年度は全体的に増加している。
- 相談の疾患群別の内訳は神経難病、膠原病、消化器系が多い。疾患別では、パーキンソン病が約1,600件、潰瘍性大腸炎が約1,300件となっており、患者数の多い疾患が相談も多くなっている。なお、訪問は神経難病がほとんどである。

表1 【令和4年度相談・訪問実績】

合計	令和3年度	令和4年度	内 訳 (件)	
			来所・電話	訪問(参考：R3度)
保健所（7カ所）	14,791	14,048	13,830	218 (185)
四国中央保健所	1,507	1,688	1,674	14 (21)
西条保健所	4,263	3,943	3,861	82 (49)
今治保健所	1,808	1,531	1,497	34 (29)
中予保健所	2,147	2,085	2,062	23 (18)
八幡浜保健所	1,778	1,571	1,560	11 (7)
宇和島保健所	1,189	1,392	1,377	15 (11)
松山市保健所	2,099	1,838	1,799	39 (50)
難病相談支援センター	231	537		